

令和8年度予算案について

(R08.02.10 記者発表)

それでは、令和8年度千歳市予算編成について、ご説明させていただきます。

本年は、任期の最終年度を迎えますが、引き続き、市民の皆さまに、安全安心な暮らしと、活気あふれる



まちを実感していただけるよう、現場重視の姿勢で、責務を全うしてまいります。

これまで、私は、「市民の安全安心」と「地域経済の活性化」、この二つのテーマを公約の軸に据え、まちづくりに取り組んできたところであります。

特に、「子育てするなら、千歳市」のキャッチフレーズのもと、妊娠・出産・育児まで切れ目のない支援の更なる充実とともに、「子育て支援」「教育」「福祉」の充実は、市民の

皆さまがこのまちで安心安全に暮らせる基盤として、公約の一丁目一番地に据え、高齢社会への対応とともに、将来を担う子どもたちが明日に希望を持てるまちを目指し、様々な取組を進めてきているところであります。

今後も引き続き、こうした取組をより一層進めるほか、「環境」、「防災」、「農業」、「観光」、「スポーツ」、「道路などのインフラ整備」など、幅広い分野において施策の充実を図り、本市を取り巻く社会情勢の変化を的確に捉えながら、新たな100年への飛躍に向け、次代を担う子どもたちに誇れるまちとして、本市の更なる成長・発展に向けた取組を今回の予算でまとめたところであり、

令和8年度当初予算を

『「空港開港100年」千歳のさらなる百（飛躍）予算』と名付け、編成したところであります。

その結果、新年度の予算であります。一般会計では、総額628億652万6千円、これは前年度と比べ、32億8,736万3千円、5.5%の増であり、過去最高

の予算額となり、

これに、7特別会計と公営企業会計を加えた全会計の予算総額では、1,011億7,641万5千円、前年度と比べ、9億1,713万3千円、0.9%の増、全会計の総合計でも、過去最高の規模として編成したところであります。

また、令和8年度予算編成にあたっては、「第7期総合計画」及び「第2期財政標準化計画」を着実に推進するとともに、次世代半導体製造拠点の整備を契機とした産業集積に伴う、今後想定するまちの変化への対応が必要となっております。

直面する様々な喫緊の課題への対応と、魅力あるまちづくりに向けた施策を積極的に進めるため、

更に、今年は、空港開港100年という大きな節目の年となることから、様々な記念行事を通じて、この特別な年が、市民の記憶に深く刻まれ、次の100年に向けた新たなスタートの年となるよう予算の重点化を図り、

「Ⅰ 定住未来戦略パッケージ」

「Ⅱ 2026ちとせ・空港開港 100年記念事業」

「Ⅲ 喫緊の課題のうち、特に重点的に取り組む事業」

の大きく3つの項目を掲げ、新年度予算編成事業の中から、重点事業として取りまとめたものであります。

まず、「Ⅰ 定住未来戦略パッケージ」について説明させていただきます。

はじめに、本市の現状と喫緊の課題について整理しております。

1点目は、次世代半導体製造工場の立地により、住宅需要が高まっています。しかしながら、宅地の供給不足や地価・家賃の高騰が続いており、その結果、若年層の転出が増加傾向で推移し、特に子育て世帯をはじめとする若年世帯への負担が大きくなっていることでもあります。

2点目は、ライフスタイルの変化、価値観の多様化等により、まちを支える基盤となる町内会の加入率低下や、高齢化等による役員のなり手不足が進んでおり、町内会活動の維持・継続が困難になりつつあることであります。

3点目は、少子高齢化が進む中で、生産年齢人口が減少しており、市内企業では人手不足が深刻化しています。特に、市内の路線バス事業者では運転手不足が顕著で、これにより減便や事業の縮小が進む可能性があり、市民の生活に大きな影響を及ぼす懸念が生じていることであります。

4点目は、公共施設を含む社会インフラの老朽化が進行しており、修繕による長寿命化や更新等の整備が必要となる施設が増加してきていることであります。

これら様々な課題への対応と魅力あるまちづくりに向け、未来を創る取組に資する事業を「定住未来戦略パッケージ」

として整理いたしました。

次に、パッケージの内容であります。

パッケージでは、

施策①「魅力あるまちづくり」として、「保育料第2子無償化」や「町内会活性化ビジョン」など33事業をとりまとめております。

なお、改修事業等公共工事につきまして、予算総額で、前年度比17億円程度、約40%の増加となっております。

施策②「住環境の充実」として、「住宅取得費の補助」や「未利用市有地の売払い」など5事業を、

施策③「雇用の充実」として、「介護人材確保支援」や「路線バス運転手確保支援」など4事業を取りまとめております。

同じく重点事業に位置付けた「2026ちとせ・空港開港

「100年記念事業」では、主な取組として5つの記念事業を取り上げております。

また、「喫緊の課題のうち、特に重点的に取り組む事業」としては、「クマ対策」と「物価高対策」を掲げております。

この2つは、市民生活への影響を考慮し、優先的に取り組むべき課題と捉え、クマ対策を通じて地域住民の安全を確保し、物価高対策で市民生活の安定を支えてまいります。

それでは、「I 定住未来戦略パッケージ」の各取組についてご説明いたします。

はじめに、「施策① 魅力あるまちづくり」から、「千歳市まちなか再構築プロジェクト」であります。

市の中心部では、ラピダス社の進出以降、ホテル、オフィス、賃貸集合住宅などの建設が進んでおります。

市としましては、目指すまちの姿を明確にし、その実現に向けた具体的な方策を示すことで、民間事業者の活発な開発意欲を後押しし、官民一体となって、魅力的で活気のあるま

ちなかの形成に取り組むため、目指すまちなかの姿やエリアコンセプト等を示した「千歳市まちなかランドデザイン」と、その目指すまちの姿を実現するための具体的な手法をまとめた「千歳市まちなか開発誘導指針」を策定します。

次に、「保育料の第2子無償化」であります。

子育て世帯が多い本市において、安心して子育てしていただけるよう、既に医療費の無料化については、昨年8月から、高校生世代まで拡大し実施しておりますが、特に、複数のお子さんがある「多子世帯」への経済的支援に繋がる取組として、令和8年9月分からの保育料の第2子完全無償化を実施します。

次に、「小学校給食費の無償化」であります。

国では小学校における学校給食費の無償化の方向性が示されたところでありますので、本市におきましては、小学校における給食費の保護者負担額の無償化を実施します。

なお、中学校における給食費の無償化については、今回、

盛り込んでおりませんが、食材の高騰分については、給食費の値上げは行わず、公費にて負担いたします。

次に、「医療的ケア児の学童クラブの受入れ」であります。

医療的ケアを必要とするこどもが学童クラブを利用できるよう、看護師を配置するなど、受け入れ態勢を整備します。

次に、「産前・産後ケアの充実」であります。

市内産後ケア施設について、デイサービス等の受け入れ枠の拡大や宿泊型サービス開始に向け、委託助産院の修繕・改修費用を助成し、夜間も専門職が子どもの対応を行う「宿泊型」デイサービス体制を整備します。

次に、「長都駅前遊びと学びの複合施設の整備」であります。

ちとせモール（勇舞8丁目）2階に、複合交流拠点施設として、屋内型こどもの遊び場と、学習スペース等も備えた図書館分館を整備します。

次に、「勇舞中学校校舎の増築」であります。

生徒数の増加に加え、35人学級の導入拡大への対応や特別支援学級の設置に向けて、6教室を有する校舎の増築を実施します。

次に、「道路橋梁等インフラの整備」であります。

樹木伐採による調整池の機能・景観の向上や、農村地域へのWEBカメラ設置による、パトロールや除雪等の出動判断の迅速化を図ります。

道路については、設置から33年が経過した末広高台通り及び鉄北通のロードヒーティングを更新するとともに、沿道区域の市街化区域編入により交通量が増加している29号通の東6線から東8線間において、車道の拡幅と歩道の整備を実施します。

公園については、宅地化が進むあずさ地区における新たな公園の整備及び市内公園の遊具更新やトイレ洋式化等の施設整備を実施します。

次に、「公共施設の維持管理」であります。

温水プールの改修や青葉公園庭球場人工芝の張替え、市民球場内野ラバーフェンスの更新など、スポーツ施設の整備のほか、こども園ひまわりや市役所本庁舎、文化センター等、老朽化の著しい設備の修繕等を実施します。

次に、「外国人住民の生活環境向上」であります。

外国人相談窓口を設置するとともに、外国人住民が気軽に日本語や生活ルール等が学べる交流の場を提供します。

次に、「町内会活性化ビジョン」であります。

町内会が抱える様々な課題を解決するため、町内会運営費補助金や資源回収奨励金の増額、備品購入費等助成金や自主防災組織活動の支援等をまとめた「町内会活性化ビジョン」事業を展開します。

次に、「バス路線の確保」であります。

美々・空港方面への路線新設や、東部隊、向陽台方面の夜間時間帯の増便、泉沢向陽台線における日本航空大学校への一部路線延長を実施します。

空白時間帯の解消や夜間帯の増便を見据えたダイヤ設定に向け、バス事業者と連携しながら、継続的に取組を進めてまいります。

続いて、「施策② 住環境の充実」であります。

はじめに、「住宅の供給誘導」であります。

若年世帯等の本市への定着や、既存住宅の流通促進を目的とし、若年世帯や子育て世帯が新築又は中古の物件を取得する際に補助金を支給します。

補助額は、新築が50万円、中古が20万円となります。

本事業の推進により、住宅金融支援機構の住宅ローン商品「フラット35」の地域連携型支援による金利優遇効果を受けることが可能となります。

通常商品との比較による金利優遇効果としましては、

借入額4,000万円の場合で約110万円、

借入額3,000万円の場合で約82万円、
となります。

なお、「フラット20」や「フラット50」でも利用可能
となっております。

また、既存住宅における省エネ機器への更新に対し、上限
10万円で補助金を支給します。

次に、「宅地の供給誘導」であります。

旧真々地保育所、教職員住宅（東雲4丁目）及び根志越市
有地を売却し宅地を供給するための準備を進めます。

次に、「学生の居住支援」であります。

学生の市内居住支援を図るため、エレベーターがなく入居
率の低い上層階等の住宅を学生に貸し出し、学生の居住支援
と地域コミュニティの活性化を目指します。

令和8年度に6戸の提供を予定しており、さらに3戸の修
繕を行い支援の拡充を図ります。

続いて、「施策③ 雇用の充実」について、「市内企業の人材確保」であります。

はじめに、地元就職と人材確保支援として、採用力の強化や人材の定着、スポットワークや外国人材採用に係るセミナーを開催するとともに、専門家の派遣による効果的な採用広報や人材の定着に向けたフォロー体制の構築などの伴奏支援を実施します。

次に、「介護人材の確保等」であります。

介護人材の確保・育成・定着促進を図るため、専任スタッフを配置した支援窓口を設置するとともに、介護分野における資格取得に係る研修費用の一部を助成します。

次に、「保育士等の確保支援」であります。

保育士の業務負担軽減や保育士の離職防止を図るため、保育士の補助を行う「保育補助者」の雇用に必要な費用を補助します。

また、令和8年度から「子ども誰でも通園制度」が本格実

施されることに伴い、事業所に従事する子育て支援員の養成を図るため、市が実施する「子育て支援員」研修に定員 10 名の新たなコースを設定します。

次に、「路線バス運転手の確保」であります。

高齢化等によるバス運転手不足を理由とした減便を防ぎ、市内バス路線を維持していくため、市内路線バス事業者に運転手として就職された方に対し、1人当たり3年間で200万円の補助金を支給します。

以上が「定住未来戦略パッケージ」となります。

続いて、「2026ちとせ・空港開港100年記念事業」についてご説明いたします。

はじめに、「千歳市空港開港100年記念式典」であります。

令和8年10月22日（木）、千歳市民文化センター大ホールにおいて、関係者を中心市とした式典と、市民を中心とした祝賀イベント等の2部制での実施を予定しております。

次に、「千歳市空港開港 100 年記念市民パレード」であります。

令和 8 年 9 月 20 日（日）（予定）、まち全体で空港開港 100 年をお祝いし、人々の記憶に残るイベントとして、駅前通り付近で子どもたちや市民団体、事業者等が一体となり、楽器演奏などのパフォーマンスを披露しながら 1 キロ程度を行進する市民パレードを実施します。

次に、「着陸場所の特定と記念プレートの作製等」であります。

大正 15 年に「北海」第 1 号が着陸した場所（航空自衛隊千歳基地内）を特定し、着陸場所を図示した記念プレートの作製及び展示（空港・市役所）や着陸した場所での記念撮影を行います。

次に、「空港の歴史展示コーナーの設置」であります。

空港があることの誇りを後世へと伝えるため、市役所本庁舎内に歴史展示コーナーを整備するほか、「北海」第 1 号の

ミニチュア製作・展示を行います。

続いて、「音楽イベントへの支援」であります。

有志による市民実行委員会が主催予定の「空港開港100年記念音楽イベント」開催にあたり、市民割相当分を負担します。

市民割は、大人は通常価格の半額、大学生以下は無料とする予定です。（チケット価格は未定であります。）

最後に、「喫緊の課題のうち、特に重点的に取り組む事業」についてご説明いたします。

はじめに、「クマ対策」であります。

昨年9月から、首長の判断で緊急銃猟が可能となり、より確実に迅速な現場対応が求められるため、ガバメントハンターを配置するとともに、専用車両や必要備品の整備などを行います。

次に、「物価高対策」であります。昨年12月に決定した「ちとせ市民応援商品券」と「物価高対応子育て応援手当」について改めて掲載しております。

商品券につきましては、現在、3月17日からの利用開始に向け、世帯への商品券の配送を進めているところであり、引き続き、千歳商工会議所と協力して準備を進めてまいります。

今後も、物価高による市民生活への影響を注視し、国等の支援内容を踏まえながら、市としての対策の対象や効果、効率的な実施手法、公平性や市内経済活性化への波及効果といった観点を総合的に勘案し、適時的確に施策を実施してまいります。

私からの説明は以上となりますが、本市に所在する「空港」や「自衛隊」をはじめとする貴重

な財産と、次世代半導体関連産業の拠点化という新たな強みを最大限に活かしながら、令和8年度も引き続き国内外から注目されるまちとして、次の100年を見据えた未来への一歩となり、新たなスタートを切る年となるよう、全力で市政運営に取り組んでまいります。

その他、予算の詳細につきましては担当から説明させます。